



令和7年7月 撮影（富士海岸から沼川新放水路を望む）

なまずくん通信とは

この広報紙「なまずくん通信」では、沼川新放水路整備事業を中心に、沼川流域における治水対策事業について分かりやすく説明していくとともに、これからの川づくりの最新情報をお知らせしていきます。

目次

- ✓ 国道1号迂回路の地盤改良工事に着手
- ✓ TOPICS 流域治水って？
- ✓ 【おしらせ】県道富士清水線切替工事が始まります
- ✓ 令和7年度メンバー紹介



国道1号迂回路の地盤改良工事に着手

沼川新放水路整備に伴い、国道1号に新たな橋を整備するため、国道1号の迂回路を整備する工事を実施します。

令和7年7月から、国道1号側道の通行を規制し、迂回路の地盤を強固にする地盤改良工事に着手しています。

地域の皆様には大変御迷惑をお掛けしますが、御理解と御協力をお願いします。



■：工事予定期間

工事工程	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
迂回路工事	■	■	迂回路工事の完了後、歩行者は通行可能になります		
橋梁工事		■	■	■	
復旧工事				■	■

TOPICS 流域治水って？

これまでは・・・

洪水を防ぐために河川を拡幅したり、河床を深くするなど河川を流れる水の量を増やすことに力を入れてきました。

しかし、近年は・・・

- ・気候変動による豪雨に伴う災害の激甚化・頻発化が進んでいます。
- ・急激な都市化の進行により降った雨が河川に集まりやすくなっています。



- ・洪水の危険性は、今後も高まることが予想されます。
- ・河川改修だけでは、増大する洪水のリスクに対応できない可能性があります。

河川の範囲を超え、流域全体であらゆる関係者が協働し、水害を軽減する
「流域治水」を進める必要があります。

浸水時に影響が及ぶ範囲（氾濫域）
→住まい方の工夫や避難行動を考える

- ・雨水が溜まりやすい場所に住むことを避ける
- ・ハザードマップや洪水浸水想定区域図で浸水被害のリスクが高い場所を把握し、緊急時の避難計画を作成する など



河川改修以外の
取り組みも
浸水被害から
僕たちを守ること
ができるんだね

河川に水が集まる地域（集水域）
→雨水を貯留し、川に集まる水を減らす

- ・雨水貯留施設
- ・各戸貯留 など

【沼川流域の雨水貯留施設】



沼津特別支援学校 校庭



県営住宅原団地 広場



「流域治水」イメージ図 出典：国土交通省ホームページ

【おしらせ】県道富士清水線切替工事が始まります



凡例
：切替完了後の県道富士清水線（予定）

沼川新放水路整備に伴い、県道富士清水線は、令和4年11月から切り回しを実施していましたが、県道下の函体が令和7年8月上旬に完成予定であることから令和7年11月に元のまっすぐな状態に県道を切替える予定です。

切替に向けて、令和7年8月下旬から電柱等の移設工事、県の道路工事を順次実施します。工事期間中は大変御迷惑をお掛けしますが、御理解と御協力をお願いします。

※天候の影響等により県道切替時期を延期する場合があります。
※県道交差部の函体工事は、分割施工としているため、県道切替後も工事は続きます。

令和7年度メンバー紹介



沼川新放水路整備課の令和7年度メンバーを紹介させていただきます。

写真の左より、山本課長、佐野班長、石田主査、原田主任、金子主任、久保田主任、中林主任の7名となります。7名中6名が新メンバーとなり心機一転がんばります！

地域の皆様の温かい御支援をいただきつつ、沼川新放水路の一日でも早い供用開始を目指して尽力してまいります。



沼津土木事務所 沼川新放水路整備課
Tel: 055-920-2129

